

周産母子センターにおける患者家族と看護師との 「交換ノート」の活用促進にむけての検討

キーワード：NICU 家族 交換ノート

1 病棟 4 階東周産母子センター

手島成美 三木砂織 岡本真由美 岡本知子 小田朋実 横山敬子 宮武順子

I. はじめに

現在、病床稼働率の上昇で面会時に患者家族への支援が十分に行えていないと感じる。NICU(neonatal intensive care unit)の多くは家族支援のため、交換ノートを活用しており、A 病院周産母子センターでも、交換ノートを用いている。しかし、その活用数は少なく、原因としては作成する対象が統一されていないこと、全て手作りで作成しており担当看護師の負担が大きいことが考えられる。今回、作成方法を検討し家族支援に効果がみられたので報告する。

II. 目的

現在 A 病院周産母子センターで用いられている交換ノートの作成方法を検討し、ノートを活用促進することにより、患者家族への支援を強化する。

III. 方法

1. 期間：平成 22 年 8 月から 11 月
2. 対象：A 病院周産母子センター勤務の看護師 33 名
交換ノートを作成した入院児の家族 20 名
3. 方法：
＜看護師＞
 - ① アンケート調査（1 回目）にて作成における改善点を分析した。
 - ② 改善した作成方法にて作成・施行した。
 - ③ アンケート調査（2 回目）にて改善できたかを確認した。
＜入院児の家族＞
 - ① 変更後の交換ノートに対しての意見をアンケート調査した。
4. 倫理的配慮：医薬品等治験・臨床研究等審査委員会で承認後、対象者の同意に基づき、研究を行った。アンケートは無記名とし、個人が特定されないように配慮した。

IV. 結果

変更前のアンケート有効回答数は 29 名であった。作成における問題点として「時間がかかる」93%、「担当看護師への負担が大きい」82%と高かった。作成時間としては「10 分」が適当であると 65%が回答した。また「担当看護師のみではなく、各勤務帯の担当者と協力する方がよい」とするが 68%であった。

結果より、①5 日以内の短期入院を除く全例を対象として統一した。②交換ノート用の用紙を準備した。③担当看護師とともに、日勤担当者が記載をするようにした。

変更後のアンケートの有効回答数は26名であった。平均作成時間は30分から9分に短縮した。作成における問題点では「時間がかかる」が93%から46%へ減少した。「担当看護師の負担が多い」は82%から19%へ減少した。交換ノートを活用した児は変更前3人だったが、変更後は26人へ増加した。(表1)

「面会時の対応は十分にできているか」については「できている」という意見が17%から35%に増加し、「できていない」という意見が83%から65%へ減少した。「会話のきっかけ作りになった」という意見もあった。(図1)

表1 交換ノート変更前と変更後のアンケート結果

アンケート項目	変更前 (1回目)	変更後 (2回目)
交換ノートの活用数	3人	26人
平均作成時間	30分	9分
作成において 「時間がかかる」と答えた人	93%	46%
作成において 「担当看護師の負担が多い」と答えた人	82%	19%

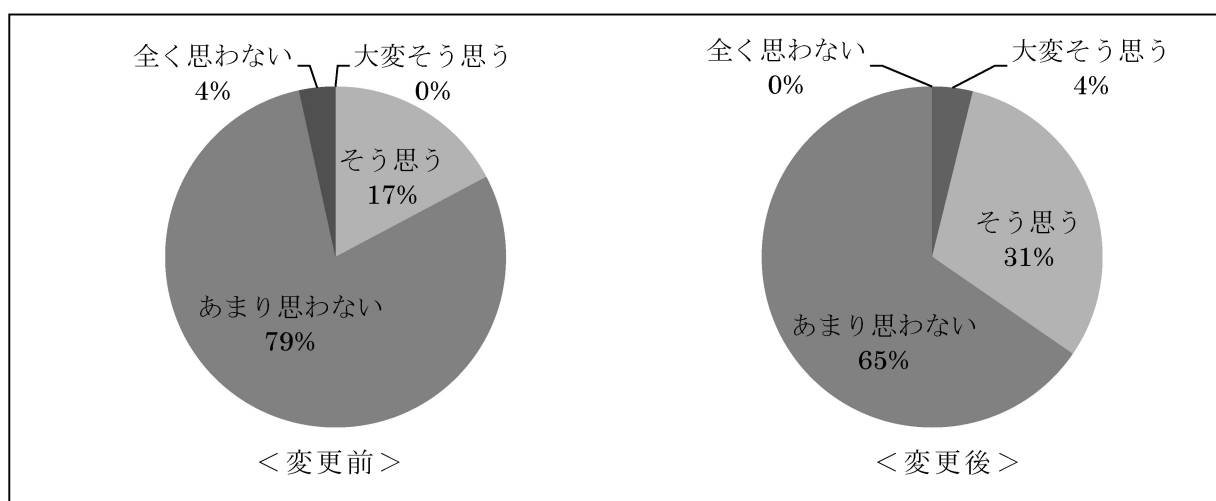


図1 看護師対象アンケート「面会時の両親への対応は十分にできたか？」

家族のアンケート有効回答数は 18 名で、作成された交換ノートや、看護師の面会時の対応には共に「よかった」100%であった。(図 2、図 3)「会いにいけなくて淋しかったけど日記のおかげで少し淋しさも和らぎました」などの意見もあった。

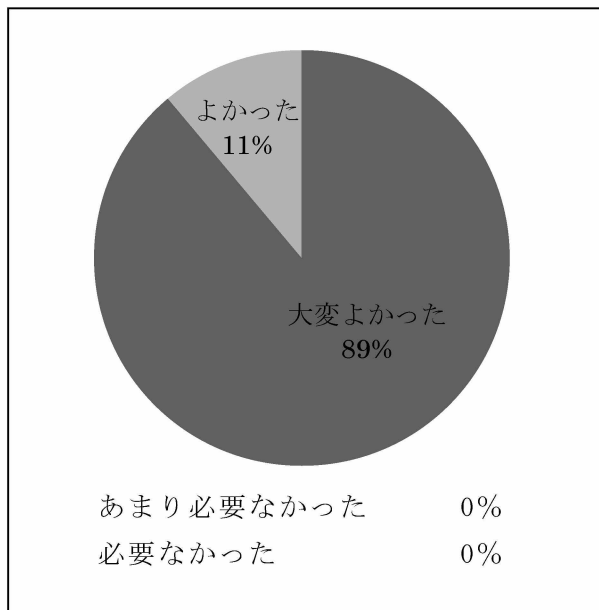


図 2 患者家族対象アンケート
「交換ノートはどうだったか？」

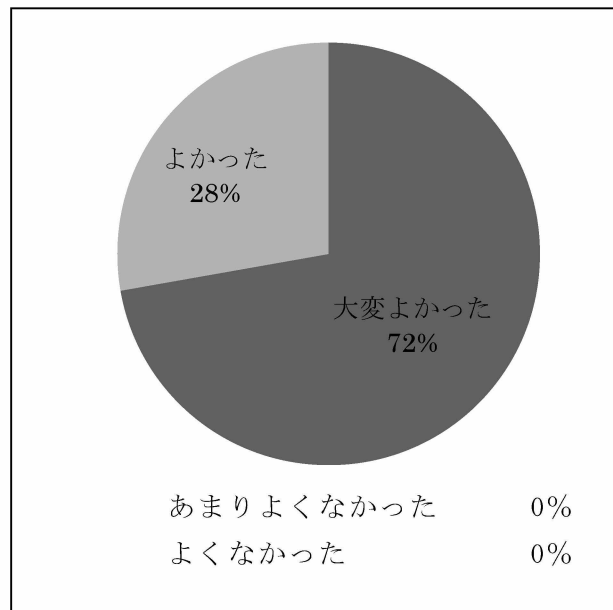


図 3 患者家族対象アンケート
「面会時の看護師の対応はどうだったか？」

V. 考察

作成方法の変更により作成時間の短縮、担当看護師の負担軽減ができたことで活用数の増加につながった。作成された交換ノートや面会時の対応においては共に家族から高い評価が得られており、満足していると考えられる。しかし一方で、看護師の多くは面会時の対応が十分ではないと感じている。実際は十分な対応をしているにも関わらず、何らかの要因で看護師が自身の対応に満足できていないと推測される。交換ノートの活用数増加とともに、面会時の対応ができたと感じる看護師の増加がみられた。これは面会時の家族支援として交換ノートを効果的に活用できたためではないかと考える。今後も家族支援の一つとして活用していけるよう、さらに有意義な交換ノートの作成方法を検討していきたい。

VI. 結論

1. 作成方法の変更によって、作成時間の短縮、担当看護師の負担軽減がみられ、交換ノートの活用数が増加した。
2. 家族は交換ノートや看護師の面会時の対応にも満足していた。

参考文献

- ・ 楠田 聡 : NICU 満床の時、周産期医学第 39 巻第 9 号、p1208-1228、2009. 9
- ・ 斎藤百合香他 : NICU 内での交換ノートの有効性 母親の思いを看護に活かすために、日本看護学会論文集小児看護 36、p74-76、2006. 2